令和7年度 長崎市立土井首中学校学力向上プラン

日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領 県・市教育方針

本校の教育目標

主体的に行動し、気づく目・感じる心 を持ちながら、夢の実現に向かう生徒 の育成

生徒・地域の実態

教師・保護者・地域の願い

学力向上にかかわる学校教育目標の「めざす生徒像」

○自分の役割を果たす生徒

〇仲間のために動く生徒

〇心と耳で聴く生徒 〇夢や目標に向けて努力する生徒

〇自分の良さを生かせる生徒 〇前向きに緒戦する生徒

校内の研究主題

夢や目標に向かって主体的に学び、明日を拓く生徒の育成

校内の研究副主題 探究の過程を重視した学習活動の充実

生徒主体の学び

学ぶ意義や喜びの実感

- ・魅力的な教材(題材)と出会わせる。
- ・自分事として捉えることができる 課題を設定する。
- ・級友との意見交換を通して学びを 深めさせる。

授業の構造化

- 学習規律の最適化を図る。
- ねらいやゴールを明確にする。
- 見通しをもたせる。
- 学習形態を工夫する。

振り返りの充実

- •学んだことを振り返り、理解度を確 認させる。
- ・学習の過程を振り返り、自分の成長 を実感させる。

長崎市・長崎県・全国学力調査結果から

全学年、市・県・全国の平均を下 回っている。国語では、全学年 「知識・技能」の正答率が大き く下回っており課題がある。数 学は、特に「思考・判断・表現」 の問題に課題がある。

学力調査分析結果を踏まえた本校の課題

- 〇読解力が十分身についておらず、 国語だけでなく、数学の文章題が読 み解けないなどの課題がある。
- 〇粘り強く学ぶことが定着しておら ず、じっくり思考し、表現するよう な問題が苦手である。

改善を把握する設定目標

- ○平均正答率が前年度から 3.0 ポイント以上向上する。
- ○学校評価における肯定的評価 の割合:「わかりやすい授業」 生徒90%以上を目指す。

土井首中学校で重点的に行う実践

- ○「わかる授業づくり」→「めあて」の提示と振り返りを行うなど、見通しの持てる手立てを工夫する。研究 授業や授業実践週の取り組みにより、深い学びに迫る方策を全員で検討する。
- 〇「生徒主体の学び」 →総合的な学習の時間を核として、探究の過程を重視した学びを行い、学ぶ楽しさや 喜びを実感させる。
- 〇「個に応じた指導」 →ティーム・ティーチングや I C T 活用により個に応じた指導の充実を図り、理解を 深めるための手立てを工夫する。
- 〇「学ぶ雰囲気づくり」→生徒指導の視点による学習規律の最適化や、特別支援教育の視点による授業のユニ バーサルデザイン化、生徒の実態に応じた授業の構造化などを推進し、全員が落ち 着いて学ぶことができる雰囲気づくりを行う。

基礎学力班

- チャレンジタイムの実践
- 授業と家庭学習の連動

授業改善班

- ・個に応じた学び(ICT 活用)
- · 授業研究、授業実践習慣
- 学習規律の最適化

学力調査班

- ・学力調査結果の分析
- ・学力向上プランの検討